

DR. VEERATHAI SANTIPRABHOB

Governor, Central Bank of Thailand (2015 – 2020)

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Asia
- Economics
- Finance
- Strategy

ヴィーラタイ博士は、2015年10月1日にタイの中央銀行であるタイ銀行の第23代総裁に任命され、2020年9月30日に任期が終了するまでその職を務めました。彼はタイ銀行総裁としては40代で最年少です。年。在任中、タイ銀行は国の高速決済システムとフィンテック環境を変革し、中央銀行ジャーナルからイニシアティブ・オブ・ザ・イヤー賞と人工知能イニシアチブ賞を受賞しました。

彼はマクロ経済学者、戦略家、金融の専門家であり、経済政策設計、商業銀行業務、資本市場において20年以上の経験があります。

ヴィーラタイ博士は、ワシントンDCの国際通貨基金で働き始め、加盟国の政府や中央銀行への助言を担当しました。また、中央銀行ガバナンス・フォーラムおよび国際決済銀行[BIS]のアジア諮問評議会の議長、東南アジア中央銀行理事会[SEACEN]の議長も務めました。

2000年から2008年にかけて、サイアム コマーシャル バンク パブリックカンパニー リミテッドに入社し、1997年の経済危機後に大規模な組織改革を実施しました。彼は、バンコク ドゥシット メディカル サービス PCL、タイ国際航空 PCL、セントラル パタナ PCL などの大手企業の取締役会でさまざまな役職を歴任しました。

2009年から2013年にかけて、タイ証券取引所の組織改革の際にタイ証券取引所に勤務しました。副社長の地位に就くことにより、彼の経営企画戦略は国の資本市場開発計画を綿密な資本市場調査に発展させ、タイ証券取引所が世界の資本市場の多くの舞台で認知されるよう推進し、協力ネットワークを構築しました。ASEAN地域の証券取引所と提携。

ヴィーラタイは博士号を取得しました。ハーバード大学で経済学の修士号を取得し、タマサート大学で経済学の学士号（第一級優等学位）を取得しています。彼はアナンダマヒドル財団奨学金、アイゼンハワーフェローシップ、SRネイサンフェローシップを受賞しました。